

令和6年度 外部評価シート

施設名	尼崎の森中央緑地	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵協・尼協・阪神共同体	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和3年～5年)

評価項目	評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 本公園では、生物多様性の森づくりを推進していることなどを踏まえ、特に、植物の管理については、それぞれの特性を把握し、質の高い維持水準を保つこととしている。 ● 清掃については、園内・工作物清掃を計画で週3回のところ毎日実施しており、また水景施設清掃も計画で年4回のところ月1回実施しており、快適な環境整備を実施していた。 ● 植栽管理については、低木剪定等を計画的に実施しているほか、除草に関しては計画で33,750m²のところ73,038m²実施しており、状況に応じた管理を適宜行っていた。 ● 公園利用者アンケートによると、「公園内(トイレ、園路等)の清掃」、「みなもの植栽の手入れ」、「施設の管理状況」、「公園の景観」については、「満足」「やや満足」が割合9割を超えており、高い満足度を得ている。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 本公園では、参画と協働を進めながら、森の成長に応じ、人々が自然の恵みを享受できる「地域を育てる森」への展開を目指しており、森づくりに取り組みながら、生育した森を活用して、児童・生徒の環境学習や、地元自治会等との協働によるイベントを実施するなど、本公園を拠点とした地域の活性化、魅力あるまちづくりを推進している。 ● 通常の運営業務においては、「ロハスピクニック」、「森のフェスタ」等のイベントを実施し、公園の認知度向上も進み、入園者数は増加傾向にある。イベント開催時の開園日・開園時間等は、事業計画通り実施し、夕方のイベント開催時等は延長した。また、魅力アップ事業の運営業務では、魅力を実感できる各種プログラムやイベントとして、中央緑地での小学生等を対象にした環境学習、環境体験イベント、昆虫採集イベントや家族で行う尼崎の森ファミリークラブを実施できている。 ● イベント参加者のアンケートにおける「イベントの感想」では、「満足」「やや満足」の割合が9割を超えており、高い満足度を示している。また、魅力アップ事業におけるイベントアンケートにおいては、全ての回答者が、「満足」「やや満足」と高い満足度を示している。さらに公園利用者アンケートでは、「公園の情報発信の充実度」が高い満足度を示している。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 公募時に提案した目標年間来園者数(年間30万人)に対して、年度別来園者数は、令和3年度は27万人、令和4年度は29万人、令和5年度は28万人となっている。 ● コロナ禍にあっても、屋外施設である優位性を生かして利用者数が増えた。ただ、令和3年度に実施した魅力アップ事業の集客イベントについては、コロナ禍の影響によるイベント中止の代替案の事前準備が不十分であったために、中止決定後の混乱を招いた。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 植栽管理研修、維持管理作業研修及び遊具点検技能修等を通じ、維持管理業務の直営化と効率化を図り、経費削減に努めている。

運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 苦情要望等の対応では、電話、園内案内などで随時受け付け、可能なものは即時に対応を行い、適切に処理できている。また、危機管理体制の取り組みとしては、危機管理マニュアルの作成、AEDの設置(パークセンター内)及び普通救急救命講習の受講が行われていた。 ● 広報については県及び尼崎緑化公園協会・阪神園芸(株)との連携により、ホームページやブログ、関係広報紙等を活用し、地域のネットワークを生かした効率的かつ効果的な広報が実施できている。 ● 森づくり活動においては生物多様性や環境、森育成管理等に関する高い専門性を有する業者に森づくり技術支援業務を委託し、県の植栽計画に合わせた森づくりを行った。また、尼崎南部再生や構想地域の実情を熟知し、地元人脈を有する業者に参画と協働による運営の企画・検討を委託し、効果的に事業を実施できている。 ● 公園利用者アンケートでは、「職員の対応」において高い満足度を得られている。
その他	—

2 残りの指定期間における改善点

<ul style="list-style-type: none"> ● 公園の管理運営において、全ての項目が高い評価を得ている。令和4年度は、持込みイベント、ロハスピクニックにおいて、来場者数が予想を上回り、駐車場に入り切れない車の列が近隣道路まで伸びたため、周囲の運行に支障を生じさせたが、令和5年度は、前年度の反省を踏まえ、十分な対策を立て業務改善した結果、このような混乱が起こることなく、スムーズに開催できた。引き続き、イベント時には混乱なく来場者を迎えらるよう努めること。
--

3 次期公募に向けた検討課題等

<ul style="list-style-type: none"> ● 本公園は尼崎臨海地域の自然再生と魅力と活力あるまちづくりの推進を目指す「尼崎 21 世紀の森構想」のリーディングプロジェクトとして位置付けられており、生物多様性の森づくりや環境学習等に取り組んでいる。また、本公園の森づくりは、地域住民や企業・地域団体等との協働、参画により進めることとしている。指定管理者は本公園の設置目的を理解したうえで、植物の特性を把握した質の高い維持管理や高い専門性を有する業者を活用するなど、森づくりへの取り組みに特に努力が見受けられ、「ロハスピクニック」「森のフェスタ」等のイベントの実施など、地域の活性化にも積極的に取り組んでいたと評価する。 ● 管理運営全般に関しては、利用者ニーズに即したイベントの実施や、有資格者の配置を行っており、利用者の満足度も高いことから、適切に業務を実施していると評価できる。特に、情報発信については、一般広報サイトに情報を載せるほか、SNSでの情報発信など積極的に広報を行っているため、引き続き、積極的な情報発信に努めていただきたい。
--

(参考) 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職	備考
平田 富士男	兵庫県立淡路景観園芸学校 兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授	
宇田 名保美	中小企業診断士	
松田 竜一	兵庫県まちづくり部次長	
山下 紗矢佳	武庫川女子大学准教授	